



地域の明日を医療で支える  
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しらくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.28  
2013.9.30発行

# ニュースレター



長野県立こども病院だより第28号 発行日：2013年9月30日 発行者：原田 順和  
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432  
<http://www.pref-nagano-hosp.jp/kodomo/> kodomo@pref-nagano-hosp.jp



## Contents

10月14日(体育の日)は病院祭です...	1
新型MRI装置「Multiva」が稼働...	3
MRIプレパレーションツール...	4
新生児マスクリーニング開始...	4
口唇口蓋裂センターが開設...	5
夏祭りを行いました!	6
デジタル水族館を開催...	6
第5病棟紹介...	7
エコセンター研究生が最新知見を報告...	8
おやつバイキング...	8
外来受診のお知らせ...	9
編集後記	9



### 長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、  
質が高く、安全な医療を行います。

## 10月14日(体育の日)は病院祭です

さわやかな空が広がり、今年も病院祭の季節になりました。いよいよ10月14日、こども病院の病院祭が開催されます。病院祭実行委員長である松井彦郎小児集中治療科部長以下、工夫をこらした各催事担当者に意気込みを述べてもらいましたので彼らの熱い気持ちを感じてください。当日は多くの方のご来場を心待ちにしております。

### 実行委員長 松井彦郎

今年のテーマは「Happy Happy Children・愛と希望と生きる力」です！こども病院も20歳と成人になりましたが、また気持ちは新たに再出発！楽しく・うれしく・面白く！未来に向かってみんなで盛り上がりましょう。今年もいろいろなイベントがあります。できるだけ参加して、思い出に残る一日にしてください。みんなでゆるきゃら軍団と一緒に写真を撮ろう！スポーツマンと一緒に写真を撮ろう！ダンスをしよう！みなさん、こぞって参加してください。

### 正面ホール担当 好沢克

正面ホールは、例年メイン会場として数多くの企画が催されておりますが、今年はさらにパワーアップしたイベントが盛りだくさんです。今年はゆるキャラが勢揃いし、管楽団の演奏をはじめフラダンス、ジャズバンド、はたまたダンスワークショップあり。そしてフィナーレには皆様から募集したこども病院のシロクマの名前が発表されます。皆様お誘い合わせの上、ご来場ください。一緒に盛り上がりましょう。

### 屋外イベント担当 北村真友

働き者のかっこいい乗り物たちが大集合するよ!! サイレンを鳴らして患者さんをいち早く病院へ運んでくれるドクターカーや救急車! 安全を見張ってくれるパトカーやハイパーレスキュー隊、そして自衛隊も来るんだよ! 力が自慢のシャベルカー! 空からも熱気球とドクターヘリが来てくれるよ!! みんな乗ったり触ったりできるよ。運転する人とお話しもできるといいね。ワクワクドキドキ楽しみにしててね。

### ラウンドイベント担当 盛田大介

今年のタイトルはHappy Happy Children! 入院中のこどもたちにも楽しんでもらえるように病棟を巡回するイベントが盛り沢山です! 今年は松本山雅の選手たちや県内のかわいいゆるキャラたちがやってきます。こどもたちと写真を撮ったりサインをしてくれる企画です。普段は見ることのできないハイパーレスキュー隊を病棟の窓越しから見学できます。病棟のこどもたちやご家族も一緒に病院祭を楽しみましょう!

### こども病院キッズニア担当 藤原香織

今年も病院祭を開催することとなり、一昨年、昨年共に大好評頂いたキッズニアを行うことになりました。こども病院には様々な資格を持つ職員がそれぞれの技能を活かし働いています。キッズニアはこども病院のスタッフが各職業を紹介し、見たり、聞いたり、触ったりと実際に体験することができるコーナーになります。各職業に興味を持って頂けるよう、それぞれの職種が趣向を凝らしております。時間・会場・人数に限りはありますが、ぜひ体験してみてください。

### 電車で遊ぼう！担当 嶋泰樹

普段リハビリに使っている広いお部屋でたくさんの電車と触れ合えます。1つ目のお部屋には2種類の電車が飾られています。その横に「自由に作ろう！」のコーナーがあります。たくさんあるレールを使って好きなように組み立てて、自分の好きな電車を走らせましょう！お気に入りの電車を持参していただいても構いません。2つ目のお部屋では、2台のトーマスに乗ることができます。(対象は体重10kgまでのお子さんとさせていただきます)

### 大道芸担当 藤田研也

今年は大道芸パフォーマーを呼びました。一流のパフォーマンスを間近で感じましょう。楽しいことこの上なし。パントマイム・ジャグリング・オペラとピエロ・腹話術など色とりどりです。みなさんコインを用意して、大道芸を楽しみましょう!!!

### 模擬店イベント担当 奥原香織

模擬店ブースでは、今年も「ひだまりの会」による綿あめやポップコーン、「心臓病の子どもを守る会」の手作り小物の販売、「有明のぼん屋さん」のパンの販売などが企画されています。新企画として、「そばうち」や「もちつき」もありますので、おながが空いたな~と思った時に、是非お立ち寄りください。また、くろよんロイヤルホテルグッズや、こども病院オリジナルタオルの販売もします。病院祭の当日に参加できない方も、オリジナルタオルを手にして、一体感を味わいましょう!!

### こども病院宇宙企画担当 奥原真澄

星、宇宙をテーマにした企画を考えました。これはセイコーエプソン様のご協力により実現するものです。内容はお楽しみということで、「プラネタリウム」や「宇宙の映像と語りのコラボレーション」などを考えています。宇宙の中の私達が互いにつながっていることを感じられるような企画になるのでは…「愛と勇気と宇宙のロマン」現実をはなれて気持ちよい空間が提供できるよう頑張ります。

昨年の  
病院祭の様子



# 新型MRI装置「Multiva」が稼働しました

放射線技術科 中沢利隆



7月22日長野県立こども病院で導入した「Multiva」は、多様なMRI検査を迅速にこなすため、検査時間、臨床画像性能、ワークフローの一貫性を高く評価されているフィリップスの既存機種であるMRI装置「Ingenia」（インジニア）と「Achieva」（アチーバ）の効率的なワークフローの技術を引き継ぎ開発された装置です。複雑な小児の臨床現場での検査効率の向上を目指し、新たなイノベーションの数々が加えられています。特に子供専用の検取器を備え、小児の体表面積に応じたバリエーション豊富なコイル選択が可能で、幅広い検査に対応することが可能になりました。

## 1. 小児領域でのニーズに対応

乳幼児専用コイルが開発され、出生時から全身（頭部・脊椎・体幹部）の異常精査が可能。心臓検査ではデュアルコイルを用いた撮像が可能で検査時間の短縮及び良質な画像が得られ、画像診断の向上を実現しました。



## 2. 検査時間の短縮化

撮像時間の倍速（短縮時間）は最大16倍まで対応し、検査時間の短縮を実現。本法によって頭部領域の検査では鎮静時間を短く、診断に有用な検査を行う事が可能となりました。マルチchコイルを用いることで体幹部、四肢関節のルーチン検査を10分以内で行うことが可能です。

## 3. 患者さんのセットアップの簡便化

（もしくは患者さんへの負担軽減）

軽量化されたRFコイルを採用することにより、患者さんへのセットアップを行うことを容易にしました。

## 最先端アプリケーションが臨床に大きく貢献

最新MRI装置Multiva1.5Tは、頭部領域、心臓領域で最新のアプリケーションが搭載されており診療現場で大きく恩恵を受けています。

実際の使用経験について、近藤放射線科部長は次のように評価しています。

「頭頸部領域では高精細な3次元画像をもとに微小な病変評価が可能になりました。また、神経線維の走行の3次元画像（トラクトグラフィ）、病変部組織組成の評価（MRS）、造影剤を使用しない脳循環評価（ASL）が可能となったことは手術前・術後評価に大きく貢献できます。

循環器領域でも心臓・大血管の形態評価に加え左心室及び右心室組織性状評価・機能評価が可能となり、先天性心奇形術後心機能評価に有力な診断情報を提供出来るようになりました。また、Multivaに付属する撮像コイルはバリエーション豊富で、フレキシブル、なおかつマルチchシステムを有しているため体表面積が細かい小児の撮像には非常に有力です。」

## MRIプレパレーションツール

認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト 塩崎暁子

木製ミニチュアのMRI、CT、操作台、点滴台そして、ストレッチャー。子ども達が「何それ！」と目を丸くし、大人も思わず手に取り笑みがこぼれる



柔らかな手触り、ほのかな木の香り。この度、皆様からいただいた尊いご寄付で堀内ウッドクラフトさんの「ぶればらウッド・検査セット」を購入させていただきました。

当院では、子ども達が主体的に治療を受けられるよう遊びを通じた説明（プレパレーション）を行なっています。遊びながら検査について学び、リハーサルし、検査に臨む子ども達のこころの準備を促して「がんばる力」を引き出すこと、そして検査後の振り返りをしながら成功体験として捉えられるようになることを目的としています。

既に何度もMRI検査を受けたことのある患者さん達から、「MRIってじっとしてなきゃいけない時間が長いから、ちょっと気持ちを上げなきゃいけないんだよ。」「検査が初めての小さい子は、こういうので音が大きいのも教えていいね。」とご感想を頂きました。そのアドバイスを活かして行った検査を控えた5歳の女の子への説明では、MRIを舞台にしたごっこ遊びが始まり「こういう検査なんだ。」

「痛くないんだ。」と体験的に学ぶ機会となりました。

子ども達が紡ぐ言葉から、医療従事者の私たちがはっと気付かされる視点や思いが見えてきます。これからどのような物語が繰り出されるのかとても楽しみであり、遊びを通じた学びの機会が検査を控えて緊張や不安を抱える子ども達の心を少しでも解していくきっかけとなるよう、大切にさせていただきたいと思います。

最後に、ご寄付を寄せてくださった皆様へ本来直接お礼を申し上げるべきところですが、それも叶わず書面にて御礼に代えさせていただきますことをお伝えし、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 平成25年10月1日からタンデムマス法を用いた新しい新生児マススクリーニングが始まります

総合小児科 竹内浩一



1977年に開始された新生児マススクリーニング事業はここ数年でタンデムマススクリーニングの導入という転機を迎えています。1990年代にタンデムマス法が米国で開発され、わが国では1997年に福井大学でタンデムマス法

試験研究が始まりました。2001～2008年の厚生労働省研究班の調査では、このタンデムマス法により有機酸・脂肪酸代謝異常症の児65名が発症前に診断され、そのおよそ90%が正常に発達しているという結果が得られました。発症後に診断された児の正常発達の割合は島根大学による調査では、有機酸代謝異常症18%、脂肪酸代謝異常症52%で、先の数字はこれを大きく上回るものでした。これらの経緯から2011年3月31日厚生労働省から各自治体宛に「タンデムマス法を用いた新生児マス・スクリーニング検査の導入を積極的に検討するよう」との通達が出されました。長野県でも2012年6月に第一回先天代謝異常検査体制検討会が開催され、従来のスクリーニング疾患検査も含めて、子ども病院が健康づくり事業団から引継ぎ、新しい検査体制の構築を目指すこととなりました。その後、先行実施施設への見学、勉強会を行い、また産科医師会・信州大学・健康づくり事業団・県とスーパーアドバイ

ザーである埼玉県立小児医療センター窪田医師の協力の下に協議会を発足させ、同意書の作成や検査の流れの整備などを行いました。現在は10月1日からの本稼働に向けて機器の調整・精度管理・カットオフ値の設定などを行っているところです。

「タンデムマス」とは「タンデム」＝直列に2つつなげた＋「マス」＝質量分析計(マス・スペクトロメーター)の意味で2台の質量分析計を直列につなげたものです。この機械は微量の検体でアミノ酸やアシルカルニチンを高感度に測定できるため、従来は不可能だった多くの先天代謝異常症も発見可能となりました。

タンデムマス法によって発見できるのは、アミノ酸代謝異常症・有機酸代謝異常症・脂肪酸代謝異常症と呼ばれる疾患群で、一次対象疾患として16疾患が挙げられています(実際は、従来法による3疾患—先天性甲状腺機能低下症・先天性副腎皮質過形成・ガラクトース血症—を加えた、19疾患が新しい新生児マス・スクリーニングの対象疾患となります)。アミノ酸代謝異常症では、代謝されずに蓄積したアミノ酸により臓器障害が引き起こされます。有機酸代謝異常症はアミノ酸の中間代謝過程の異常で、生体に対して毒性を持つ有機酸が代謝されずに増加し様々な障害を引き起こします。脂肪酸代謝は炭水化物由来のエネルギー供給が低下したときに代替のエネルギー供給

系として働きます。この過程が障害される脂肪酸代謝異常症では、長時間の絶食や感染症などでエネルギー消費が増えたときに、急性のエネルギー産生不全に陥り急性脳症や突然死を起こすことがあります。いずれの疾患も早期に発見することが非常に重要です。この早期発見により、発症前から予防的な食事療法・薬物療法を行い、また感染症罹患時等には早めに適切な対処を行うことで障害を予防していくことが可能となります。

1997～2011年のタンデムマススクリーニング調査研究によりますと、16疾患全体での発症頻度は1/1.1万とされています。長野県の年間出生数は1.7万人程度ですので、毎年1～2人の患者さんが発見されることとなります。これらの患者さんにおいて、急性期には血液浄化療法を含む対症療法を、慢性期には食事療法や食事間隔指導などの生活指導、薬物療法を、また家族を含めた遺伝相談など、多岐にわたる治療が必要となります。私たちこども病院スタッフは全力で対処していく所存ですので、関係各位の皆様どうかよろしくお願いいたします。



## 口唇口蓋裂センターが開設されました

2013年7月1日より、長野県立こども病院内に口唇口蓋裂センターを開設しました。

口唇口蓋裂の治療では、複数科の専門家によるチーム医療が重要です。とくに形成外科、口腔外科、矯正歯科、言語聴覚士の役割は大きく、それぞれが連絡を取り合って、専門性の高い治療を行うことが理想です。しかし、長野県内にはすべての職種がそろっている医療機関がないこと、仮にそのような施設を一か所に準備したとしても広くて山に隔てられた長野県ですべての患者様が時間的経済的負担無く通院することが困難であることが問題でした。

我々の口唇口蓋裂センターは全国初の多施設間協力型センターとして立ち上げています。これは各施設に分散した専門家による人的資源と各施設に分散した設備による物的資源を有効活用するための試みです。このセンターの一番の役割は各施設間のつながりを維持することにあります。



センターは長野県立こども病院形成外科に置きますが、必要な治療によりこども病院リハビリテーション科、信州大学医学部附属病院形成外科、歯科口腔外科、松本歯科大学附属病院矯正歯科が主な治療の場となります。また、このセンターは中信地区の施設で構成されていますが、長野県内の東北南信各地域の基幹病院および矯正歯科医院とも

密接に連携しており、中信地区から遠い患者様方が安心して通える連携治療施設を紹介いたします。すべての施設は定期的に情報交換を行い、県内すべての患者様に質の高い医療を提供することを目標にしています。また情報提供につとめ、安心して治療を受けられる環境を整えます。

受診希望の方は、毎週金曜日の口唇口蓋裂専門外来を受診して下さい。電話予約が可能です。おとなでもこどもでも診察することができます。適切な治療機関を選択し、必要に応じ紹介いたします。

**センター長** 藤田研也（兼形成外科副部長）  
**顧問** 杠 俊介（信州大学医学部形成再建外科学講座 准教授）  
山田一尋（松本歯科大学歯科矯正学講座 教授）  
栗田 浩（信州大学医学部歯科口腔外科学講座 教授）

#### 主な治療内容

##### ●長野県立こども病院

乳児～小児期における口唇裂口蓋裂手術治療・口蓋裂言語の治療・小児各専門家による治療

##### ●信州大学医学部附属病院

成人期における口唇外鼻形態の治療・成人期における口唇口蓋裂に伴う顎変形症の治療・幼児、成人例における補綴治療・成人例におけるインプラント治療

##### ●松本歯科大学附属病院

幼児、成人における歯科矯正治療

## 第5病棟紹介

こども病院北棟4階の西側に位置し、安曇野から北アルプスの眺めは最高。ロケーションでは一押し病棟です。

対象科は小児神経科7床・形成外科4床・小児外科6床・総合小児科5床・フリー4床の計26床の病床となっています。対象科の患者さんは、手術目的、内科治療の必要な患者さんで各科様々な疾患に対応しています。特徴としては気管切開術・喉頭気管分離術・胃瘻造設術後の退院指導、在宅医療を必要とする患者さんへの指導。また、形成外科の患者さんに向けたプレパレーション、内科的療養の必要な患者さんには心地良い環境づくりに力を入れて取り組んでいます。

今年度の目標は「私達は子どもの『頑張る力』と『笑顔』を支えます」としました。入院されるお子さんの成長と病気を乗り越える力を応援できる看護を提供出来るよう努力しています。看護スタッフ27名、保育士2名、看護助手1名、病棟クラーク1名で、明るく、楽しく働きやすい職場です。「フィッシュ哲学」を推進し、自分の仕事の価値を見出し、思いやりのある前向きな姿勢で仕事出来るよう、皆頑張っています。

例年テラスガーデンのプランター農園ではトマトやキュウリ、ゴーヤなどを育ててきました。今年は、「らっこちゃん畑」と命名し、すいかも収穫できました。グリーンカー



テンには朝顔の他、ひょうたんやぼっちゃんかぼちゃも実り始めて皆びっくりしています。今年は6人の新採用者を迎えました。看護師さんも順調に育っています。笑顔の美しい、頼れる看護師に育つようにプリセプターチームも頑張っています。

季節の行事としてカレー会や芋煮会、餅つき会を企画しています。テラスガーデンで患者さんとご家族、スタッフが交流できるお楽しみ会で、恒例となっております。病院中のスタッフから注文が入ります。今後の予定は、10月に芋煮会を計画していますので是非ご参加ください。

## 夏祭りを行いました!

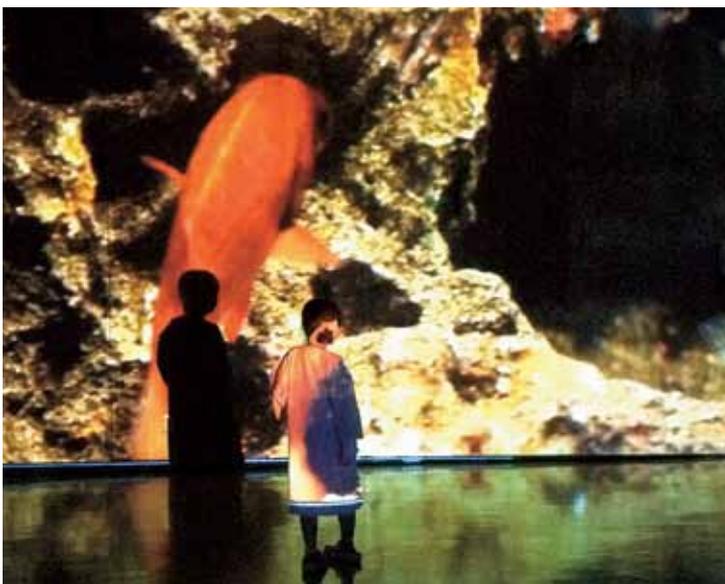


8月2日(金)の夕方、毎年恒例の夏祭りを行いました。射的、綿あめ、かき氷、ボールすくい、水風船、フルーツパーラーなど縁日の屋台が立ち並んだエントランスホールや正面玄関は昼間とはまた違う賑わいをみせていました。職員もこの日は粋な半被を着こなして(笑)、綿あめや

スイカを持ち、こども達と一緒にボールすくいに参加するなど、お祭りの雰囲気を楽しんでいました。

お祭りの終盤に、「ワッショイ!ワッショイ!」の掛け声と共にこども達が手作りのイルカのお神輿を生き生きとした表情で担ぐ姿は、会場を一層盛り上げました。

## デジタル水族館を開催しました



(映像提供: グッピー本店様(諏訪市)、葛西臨海水族園様)

平成25年8月20日(火)、セイコーエプソン株式会社様(本社・諏訪市)からのご発案で、「デジタル水族館」を当院南棟2階会議室で開催し、入院中の患者さんやそのご家族を含め約50名の方にご参加いただきました。

海の生き物たちの映像が映し出された2枚の特殊な布の間を通ると、思わず見とれる程の幻想的な空間が広がり、参加された患者さんや職員を魅了しました。

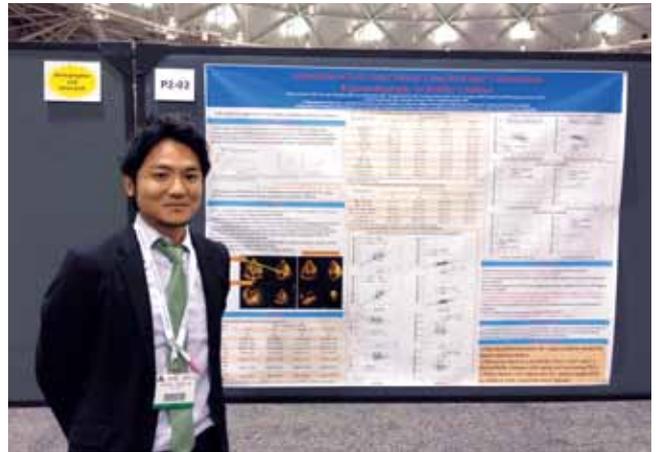
壁面には、熱帯魚などの映像が大きく映し出され、こども達が魚を捕まえようとしたり自分の影と魚と一緒に泳いでいるように見せたりと微笑ましい様子が見られました。

セイコーエプソン株式会社の企画担当の方は「こんなに多くの方に見に来ていただいて嬉しい。何よりも患者さんの喜ぶ様子を拝見できたことがこの企画の大きな励みになる。少しでもみなさんに喜んでいただけるよう今後もいろんな企画に取り組んでいきたい」と、嬉しそうに話されていました。

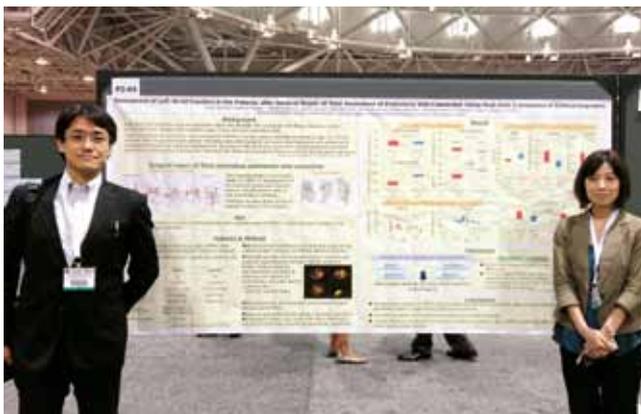
# エコーセンター研究生たちが米国心エコー学会で最新知見を報告!!

循環器小児科 瀧間浄宏

心エコーの分野において世界で最も大きい学会の一つである米国心エコー学会がミネソタのミネアポリスで開かれました。学会は6月29日から7月2日の4日間、虚血性心疾患、弁膜疾患、心筋疾患、先天性心疾患などの分野を中心に多くの著名な先生によるレクチャーやハイレベルの発表がありました。基本から最新の知識まで非常に勉強になり、研究心をインスパイヤーされる学会です。この学会に当院の研究生の2人がモデレートポスターセッションで発表しました。順天堂大学小児科から来ている田中登先生が“Assessment of Left Atrial Volume using Real-time Three-dimensional Echocardiography in Healthy Children”という演題で健常小児の3次元心エコーによる左心房機能の正常値について、176例というこれまでにない多数例での報告をはじめて行いました。九州厚生年金病院からの研究生、倉岡彩子



先生は“Assessment of Left Atrial Function in the Patients after Surgical Repair of Total Anomalous of Pulmonary Vein Connection Using Real-time 3-dimensional Echocardiography”という演題で、同じく3次元心エコーを用いて総肺静脈還流異常症術後症例の左心房機能を解析、“左心房の伸展性低下が拡張期圧上昇の原因である”という新しい知見を発表しました。このモデレートポスターセッションの採択率は5～10%以下と超難関でしたが、2人とも見事アクセプトされ、英語のショートスピーチも乗り越えて立派な発表をしてくれました。長野県立こども病院のオリジナルの研究が若い先生たちの力によって世界にどんどん発信されるのは非常に嬉しいことです。この2人に負けずに若い先生たちはがんばって欲しいと思います。



## おやつバイキング

栄養科



栄養科からは今回、おやつバイキングの紹介です。毎月1回、季節感たっぷりのおいしいおやつがプレイルームに並びます。今年の夏は本当に暑かったですね。ということで、8月14日はアイスバイキングでした。自分で選ぶバイキング方式で、おやつのひとつきを楽しんでもらっています。色々あって、どれがいいかな？見ているだけでも幸せな気持ちになりますね。

どれも人気で迷ってしまいますが、好きなアイスを2つ選んで、皆さん大満足の様子でした。

次回9月は…？屋台バイキングの予定です。わたあめ、焼きそば、たいやき…何が出るかな？

## 外来受診のお知らせ

外来受診のご予約はご家族の方からお取りいただくようお願いしております。

当院は紹介外来制をとっておりますので、初診時には原則として医療機関からの紹介状が必要です。また、受診患者さんの診察を円滑に行うために紹介状（画像・検査データ含む）の事前送付をお願いしております。

ご予約日の1週間前を目途に下記の宛先までご送付ください。

※送料についてはご負担願います。

予約専用電話：0263-73-5300

受付時間：平日（月～金）の8時30分～17時15分まで



送付先：〒399-8288

長野県安曇野市豊科3100 長野県立こども病院  
総合受付 あて

お問い合わせ：長野県立こども病院 総合受付 まで

### 長野県立こども病院 院内研修会予定

#### 「小児科医の果たすべき任務と責務」

小児病院における感染症科医の果たすべき役割から感染症の総論まで。堀越先生のライフワークである発展途上国への医療支援とその現状についてもご講演いただきます。

講師：東京都立小児総合医療センター 臨床試験支援センター・感染症科 堀越 裕歩 先生

日時：平成25年9月27日（金）17時30分～19時30分

場所：南棟2階会議室

研修主催者：張慶哲（後期研修医チーフレジデント）

\*後期研修医対象ですが、院内外の医療関係者の参加も歓迎します。

#### 「エアマットを使いこなしてみませんか？ ～寝心地体験～」

エアマットの基礎知識、エアマットの様々なモードの体験、PTによる体圧計を使いながらの効果的ポジショニングの指導。

講師：院内スタッフ

日時：平成25年9月30日（月）17時45分～18時45分

場所：北棟2階会議室

研修主催者：上條みどり（褥瘡防止対策委員会）

### 長野県立こども病院公開講座

#### こどもの食物アレルギー ～豊かな食育を目指して～

●10月5日（土）13:30～15:30 軽井沢町中央公民館 大講堂

●11月16日（土）13:30～15:30 長野県看護大学教育研修棟3階 大講義室

「小児の食物アレルギーについて」

講師：独立行政法人国立病院機構 相模原病院 小児科 小池 由美 先生

「アナフィラキシーショック時の対応」

講師：長野県立こども病院 小児集中治療科 黒坂 了正

## 編集後記

「TOKYO 2020」封筒から取り出されたカードが“トーキョー”という言葉とともに示された場面、何度見てもいいですね。ここにいたる関係者の御努力には頭が下がります。オリンピックという世界的なスポーツの祭典とは若干？規模が違いますが、「病院祭」は当院の大きな祭典です。今年の病院祭は東京オリンピックの開会を記念した体育の日に開催されますので、天候に恵まれた素晴らしい祭典になることを期待しています。

小木曾

# 長野県立こども病院 外来医師担当表

平成25年9月1日現在

	外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
南棟外来	整形外科	藤岡 文夫 (AM)	高橋 淳 (PM) <sup>※1</sup>	松原 光宏 藤岡 文夫 加藤 博之 <sup>※2</sup>	松原 光宏 (AM)	松原 光宏
	小児外科		好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	畑田 智子 (AM) 好沢 克 (PM)	
	眼科	非常勤 <sup>※3</sup>	視能訓練	視能訓練	視能訓練 (AM) 北原 博 (9/15)	北澤 憲孝
	総合小児科	南 希成 (AM) <sup>※4</sup> 笠井 正志 (PM)	樋口 司	樋口 司 (PM) 南 希成 (PM) <sup>※5</sup>	南 希成 (AM) 笠井 正志 (PM) <sup>※4</sup>	樋口 司 (AM)
	血液腫瘍免疫科 <small>免疫・アレルギー外来</small>			重村 倫成 (AM)	小林 法元 (AM)	
	血液腫瘍免疫科 <small>血液・腫瘍外来</small>	塩原 正明	塩原 正明 (AM)	塩原 正明		塩原 正明 (AM)
	総合小児科 <small>内分泌・代謝外来</small>		竹内 浩一 (AM)		竹内 浩一 (AM)	竹内 浩一 (AM)
	循環器科 <small>(内科・外科)</small>	坂本 貴彦 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 (内科)	原田 順和 (AM) 坂本 貴彦 (外科)	安河内 聰 田澤 星一 (内科)	瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)
	リハビリテーション科					笛木 昇 (AM)
北棟外来	脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
	泌尿器科 <small>皮膚・排泄ケア外来</small>	市野みどり		市野みどり		市野みどり
	神経小児科	平林 伸一 <sup>※7</sup> 福山 哲広	平林 伸一 <sup>※6</sup> 福山 哲広 (PM) 奥野 慈雨	平林 伸一 奥野 慈雨 (AM)	奥野 慈雨 (AM)	平林 伸一 福山 哲広
	小児外科					高見澤 滋 <sup>※7</sup>
	新生児科	中村 秀勝 (AM) <sup>※8</sup> 小田 新 (AM) <sup>※8</sup> 中村 友彦 (PM)	小久保雅代	廣間 武彦	廣間 武彦	小久保雅代
	形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒	安永 能周 (AM) <sup>※9</sup>	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒	野口 昌彦 (PM) 丸山百合子	野口 昌彦 (PM) 杠 俊介 (PM) 藤田 研也 (PM) 永井 史緒 (PM)
	総合小児科 <small>内分泌・代謝外来</small>		竹内 浩一 (PM)		竹内 浩一 (PM)	
	麻酔科	大畑 淳 (AM)				大畑 淳 (AM)
	皮膚科				芦田 敦子 (AM)	
	精神科 <small>こころの診療科</small>				原田 謙 (PM) <sup>※10</sup>	
	遺伝科	古庄 知己 <sup>※11</sup>	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子 (AM) 泉 幸祐 (PM) <sup>※12</sup>	西 恵理子 (AM)
	耳鼻咽喉科		下記 <sup>※13</sup>		出浦美智枝	
	循環器小児科 <small>胎児心臓外来</small>		田澤 星一	松井 彦郎	瀧間 浄宏	安河内 聰
	産科	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代
	リハビリテーション科	笛木 昇	関 千夏 (AM) 笛木 昇 (PM)	笛木 昇	原田由紀子 三澤 由佳	笛木 昇 (PM)

- ※1 整形外科の高橋医師は第2週のみ診察となります。
- ※2 整形外科の加藤医師は奇数月第3週のみ診察となります。
- ※3 9/2、9/9の診察日となります。
- ※4 月曜日の南医師と木曜日の笠井医師は、午後4時～5時の間だけ予防接種相談外来になります。
- ※5 南医師は、ワクチン接種になります。
- ※6 月・火曜日の午前 平林医師は発達障害専門外来です。
- ※7 胃瘻・中心静脈栄養外来です。
- ※8 中村(秀)医師は、第1、3、5週、小田医師は第2、4週の診察となります。
- ※9 火曜日の安永医師は第4週の午前のみ診察となります。
- ※10 精神科(こころの診療科)外来の初診は、受付していません。
- ※11 遺伝科の古庄医師は午前11時からの診察となります。
- ※12 遺伝科の泉医師は第2、4週の診察となります。
- ※13 耳鼻咽喉科 午後 週によって、医師が異なります。

- ★診察時間：午前9時～午後4時
- ★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始
- ★受診には、原則として予約が必要です。

**予約専用電話**  
**0263-73-5300**